

大阪支部例会おもしろ体育スクール

保育の現場から

～私が同志会にいる理由～

南河内ブロック 幼年 井上みなみ

今日の話の目次

- ▶ ①自己紹介
- ▶ ②コロナ禍での保育の実態
- ▶ ③就学前の子ども達に育てたい力、
伝えたいこと
(3歳児～5歳児の発達・実践に絡ませて)

①自己紹介

- ▶ 私の生い立ち
- ▶ 同志会との出会い
- ▶ 私の保育観

コロナ禍での保育の実態

- ▶ 消毒の毎日
- ▶ 行事の中止・縮小
- ▶ マスク生活による言葉の発達の心配、表情を読み取れない心配
- ▶ 一緒に食事できない
- ▶ 保護者との信頼関係作りの難しさ

悪いことだけではない

- ▶ 代わりにになる物はないのか考えることができた
- ▶ 行事の一つ一つの意味を考えることができた

3歳児

▶特徴

- ・ “～しながら～できる”ようになる
- ・ 唯我独尊
- ・ ごっこ遊び大好き
- ・ バランスを取りながら、自分の体を自分で動かす喜びを高める

子どもの姿



子どもの姿



子どもの姿



実践

- ▶ ロボットごっこ

Mちゃん、Yちゃんの姿から

- ▶ ねごっこ

クラスで気になる子が気にならない

→ごっこ遊びに正解、不正解がないので安心して思いが出せる

→対大人なので、さじ加減ができる

(子どもの姿や様子を見て勝ち負けを経験させていける)

→楽しい遊びの中で簡単なルールを守れるようになる

4歳児

▶特徴

- ・“～だけでも～する”ができるようになる
- ・仲間の中で自分を育てる
- ・ルールを守ることによって楽しく遊べること、気持ちよく過ごせることが分かってくる
- ・揺れる心、葛藤する気持ち
- ・頭の中にあるイメージで自分の体を動かすことが巧みになってくる

子どもの姿



実践

▶ しっぽとり

Kくん、T君の姿から

→ルールを自分達で作っていく楽しさ、自分たちが考えたことが形になる

喜びを感じれる（みんなで感じる成功体験）

→ルールを守らない子に自分達で要求できるようになる

→楽しい遊びの中だからこそ相手の思いが聞ける

5 歳児

▶特徴

- ・自分の感じたこと、思ったことを言葉で表現できるようになる
- ・自治的集団
- ・自分達のは自分達でできるようになる
- ・体のコントロールが上手になってくる

子どもの姿



実践

▶ しっぽとりのその後
ルールが発展していく

→自分達で運営できるようになる

→作戦を考える楽しさが分かる

共通して

- ・遊びに入らない子、ルールを守らない子は必ずいる
→その子を“困る子”にすることはとても簡単・・・
“困る子”で終わるのではなく、“何でしないのか？”“何に困っているのか？”を探り、手立てすることが大切
- ・気になる姿ばかり見ない！気にならない時もあるはず！
- ・どれだけ保育者が子どもを理解するか

就学前の子ども達に育てたい力 伝えたいこと

- ▶ 「イヤなものはイヤ」「良いものはいい」「わからないものはわからない」と言える子に
- ▶ そして「わかったらおもしろい」と思える子に
- ▶ 「なんでわかったか」「なんでできるようになったか」考えて伝えれる子に
- ▶ 友達と認め合える関係を築ける子に
- ▶ ありのままの自分を好きになれる子に

ご清聴ありがとうございました！